

身体拘束ゼロ

をめざす院内集会 第3弾

主催：精神科医療の身体拘束を考える会

私達は、現在開催されている「地域で安心して暮らせる精神保健医療福祉体制の実現に向けた検討会」において、人権状況が改善され、今までの体制が改革されることを切望してきた。

しかしながら実際は、身体拘束の実施要件を定める大臣告示に、今までにない「検査及び処置等を行うことができない場合」という文言を新たに加える案が示され、集会開催後の検討会では今度はそれに代わり「患者に対する治療が困難な場合」という文言が用いられ、引き続き実施要件が緩和、拡大する方向が維持されたままである。さらには、医療保護入院については、いったん「将来的な廃止」の文言が入ったが、その後の検討会では削除され「将来的な継続を前提とせず、縮減に向けて検討」とされた。いわゆる精神科特例に関しても、「廃止された」と言うばかりで実際に少ない医師の人員基準のことは一切触れることもしない。2004年の“精神保健医療福祉の改革ビジョン”では、「立ち後れた精神保健医療福祉体系の再編と基盤強化を今後10年間で進める」としていたが、今やそれもなきものにされようとしている。

このような危機感の下に広範な市民、国民、関係者と共にあるべき姿を求めたい。

2022年4月28日(木)

12:30~14:30 (受付 12:00 より)

内 容

現在行われている厚労省の検討会で示された身体拘束実施基準の“見直し案”を徹底検証する／石川の身体拘束裁判、行われてた医療・ケアの内容から、身体拘束ゼロに向けて何が出来るかを考える／医療保護入院について「将来的に廃止」の文言が削除されるなど後退する政策の方向性を変えるために何をすべきかを考える 海外の状況から 伊勢田亮さん（精神科医） 他

参加方法 お申込み

申し込みの際は
お名前・ご所属等
お知らせください

オンライン (ZOOM)

【申込方法】右のQRコードのページかメールにてお申し込みください

E-mail/ sankakibou22@gmail.com お名前・ご所属等

締め切り 4月26日。前日までに参加 URL をお知らせします。

参議院議員会館 B101会議室 (東京都千代田区永田町 2-2-1)

今回はこれまでよりも狭い会議室での開催のため、会場でのご参加は、議員の方、マスコミ関係者の方のみとさせていただきます。

【申込方法】右のQRコードのページかメールにてお申し込みください

E-mail/ hasegawat@ks.kyorin-u.ac.jp お名前・ご所属等

当日 12:00 より 12:30 に参議院議員会館 1F ロビーにて通行証をお渡しします。

参加申込



〔主 催〕精神科医療の身体拘束を考える会

〔後 援〕特定非営利活動法人全国精神障害者地域生活支援協議会 (あみ) / 公益社団法人日本精神保健福祉士協会 / 公益社団法人全国精神保健福祉社会連合会 (みんなねっと) / 全国「精神病」者集団 / 精神保健福祉事業団体連絡会 / 認定 NPO 法人 D P I 日本会議 / NPO 法人日本障害者協議会 (JD) / 日本障害フォーラム / 東京都地域精神医療業務研究会 / 埼玉県精神医療人権センター / 認定 NPO 法人大阪精神医療人権センター / 東京精神医療人権センター

* 情報保障については、連絡先の長谷川 090-4616-5521 にお知らせください。